
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第64号（通巻第131号）

2007年12月21日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

※ このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、改変しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

■ 第3回期間採用者等研修会のご報告（山梨大学地域連携事業）

12月1日(土)、今年度3回目の期間採用者等研修会を開催しました。期間採用や非常勤の先生方、学生の皆さん等、合計60名の参加がありました。研修では、元校長先生による講演や現在、指導的立場で活躍中の小・中・高校・特別支援学校の先生方からの実践報告とグループ討議、教員採用検査対策を実施しました。受講者からの感想は次の通りです。

「月曜から、また、楽しく授業に取り組んでいきたいというパワーをいただきました」

「貴重な体験、そして実践に基づく手法を知ることができて良かったです」

「とても参考になりました。また、明日からの学校生活に活かしていくつもりです」

「とても勉強になりました。まさに今、自分が知りたいことを学びました」

「講師の先生のお話が、大変興味深く面白かったです。いろいろなことに対してアンテナをたて、根気よく活用していくことが大切だと感じました」



■ 第4回連携・教育研究会のご報告

12月17日(月)、県総合教育センターにおいて、第4回連携・教育研究会を開催しました。今回は、総合教育センターからの情報及び研究の紹介ということで、昨年に引き続き、内田淳研修主事から「算数プロジェクト」(2年目)の発表がありました。PISAやTIMSSの結果や国や県が実施した小中学校教育課程実施状況調査の結果から特に論理的思考力の育成が必要であることが明らかになり、これらの課題に対応するために、このプロジェクトを立ち上げたこと。昨年の取組としては、教員を対象としたアンケート調査を実施し、小学校算数科における指導方法の改善について検討し、「算数科授業指導例」を作成したこと。そして、本年度は、その指導例をもとに協力校において授業実践を行い、検証を行ったことが発表されました。研究会では、本学数学教育講座中村享史教授から、子どもたち、特に低位層の子どもたちの意欲の伸びを授業感想などから捉えること、PISAの結果の見方から、誤答や意識を分析して、子どもたちそれぞれにあった形にフィードバックすること、割合(%)でなく個々の子どもを見ることの大切さ、また、次期学習指導要領では、算数的活動・数学的活動が教科書に明示されることなどのお話がありました。次回連携・教育研究会は、1月29日(火)に、特別講演会として中村享史先生の「新学習指導要領の方向性」と題した講演を予定しています。



■ 第4回教育臨床研究会のご報告

12月5日(水)、甲府市立南中学校の雨宮瑞穂教諭を講師にお招きし、第4回教育臨床研究会「特別な教育的ニーズを考える—南中学校の支援について—」を開催しました。南中学校の特別支援教室や県内唯一の中学校における通級指導教室の実践について資料をもとに詳細なお話を伺うことができました。保護者や教師の方々など14名の参加がありました。次回は平成20年2月27日(水)10時半(J号館5F多目的教室)を予定しています。ご関心のある方はどうぞお出かけください。

■ 「教師相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください。

先生方の教育相談に教育相談室(Y-304)をどうぞご利用ください。鍵は教育実践総合センター事務室(J号館4F)にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。(なお、火・木・金曜日の午後は教育実践総合センター及び附属特別支援学校相談支援室が優先的に使います。)

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲーム、教育相談関連のビデオ教材など備品を貸し出します。借りる際には使用ノートに記入をお願いします。

■ 第3回学内教育相談協議会のお知らせ

平成17年度より年1回開催しております「学内教育相談協議会」を平成20年2月27日(水)16時よりJ号館5階多目的教室にて行います。今年度から開始された「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談事業」の現況報告や教育相談全般に関する意見交換などを予定しています。教育相談スタッフの先生方、教育相談事業に関心をお持ちの先生方のご参加をお待ちしております。